



[エジプトの文明] (紀元前3000年頃)
[]川流域に統一国家

- ・ 巨大な []をつくる。
- ・ かんがい用の水路をつくり、農業を発展させた。
- ・ []をつくる。
- ・ 絵文字 []を使用。

ピラミッド

王の墓として作られた、エジプトの代表的建造物で、現在約80基が知られている。底辺が正方形の四角錐の形をとり、四つの辺は東西南北に面する。この形は太陽光線をかたどったものと考えられている。石灰岩の切り石を下から順に積み上げ、最後に角を削り落としてなめらかな斜面に仕上げた。斜面の傾斜は約52度ある。巨大ピラミッドが活発に建設されたのは、紀元前2800年頃から2500年頃にかけてである。もっとも大きいクフ王のピラミッドは底辺230m、高さ145mで、平均2.5トンの石を270~280万個積み上げたと計算されている。働いたのは奴隷でなく農民で、農閑期にあたる洪水期の3ヶ月間があてられた。巨大ピラミッドの場合、10万人が20年間働いて完成した。

太陽暦

エジプト人は、毎年おこるナイル川の洪水がいつ始まるのかを正確に知ろうと努力した。そして、シリウス星が夜明け前に地平線上に輝きだすと、その数日後にメンフィス(今のカイロ付近の都市)に洪水が押し寄せることを知った。そこで、次の洪水がくるまでを1年とし、1ヶ月が30日、12ヶ月で360日からなる暦を作った。やがてシリウス星が1年に5日遅れてあらわれることを発見し、どの月にも属さない5日を加えて合計365日とした。しかし、1太陽年は、365.2422日であるのに、エジプトではこの端数を無視したので、暦と季節がしだいにずれてしまう。エジプト人はこれに気づいていたが、閏年をおくことはせず、重要な祭りや行事の日付の方をずらしていった。閏年をおいたのは、紀元前3世紀になってからである。